

特集

トップ
インタビュー

人からも自然からも選ばれる 幸せあふれる持続可能な与論島



TOP
Interview

与論町長 田畑 克夫

今回は与論町の田畑克夫町長に、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンやご自身の健康法等について、お話を伺った。

「人」こそが宝であり未来を拓く主役

与論町における健康に暮らせるまちづくりへのビジョンについてお聞かせください。

与論町は、鹿児島県の最南端に位置し、鹿児島市から南へ約57.6kmの洋上に浮かぶ、一島一町の町です。周囲24km、面積21km²の小さな島に約5000人の島民が暮らしています。気候は亜熱帯に属しており、年平均気温23度と一年を通じて温暖で、5月から10月まで海水浴を楽しむことができます。

サンゴ礁のリーフに囲まれた与論島には、趣の異なる、60もの美しい砂浜があります。干潮時にのみ現れる「百合ヶ浜」は神秘的で美しく、白い砂浜と透き通るヨロンプルーの海、ハイビスカスやブーゲンビリアなどの鮮やかな南国の花が咲き誇り、夜には満

天の星空が広がります。また、この島にしかない歴史、伝統・文化、懐かしい島の原風景やゆっくり流れる島時間求めて、島外から多くの旅行者が与論島へ訪れます。

観光業だけでなく、温暖な気候を活かして基幹作物であるサトウキビをはじめとした農業や畜産（飼育肉用牛の頭数は島民より多い約5300頭）、豊富な水産資源に恵まれた漁業も盛んに営まれています。

この豊かな島を次世代へと守りつなげるために、島に関わり今を生きる私たち全てが、よりよい与論島の未来へ向けて取り組みを実践していく必要



基幹作物のサトウキビ畑



島民より牛の方が多し

性があります。

与論町では「人」こそが宝であり未来を拓く主役であると考え、『与論島人づくり構想（与論島アカデミー構想）』人からも自然からも選ばれる幸せあふれる持続可能な与論島』を令和6年度に策定し、0歳から100歳以上の町民も積極的に地域づくりに参加して、人づくりと地域づくりを両輪で回すことにより、地域課題の解決や新たな価値の創出に資する人材の育成に取り組んでいます。

健康づくりの施策としては「第6次与論町総合振興計画」の重点プロジェクトの第1節に健康増進プロジェクトを掲げています。少子高齢化が進行していく中で、子どもたちがのびのびと成長し豊かな人間性が育まれるまちづくり、働く世代が健康で明るく暮らせるまちづくり、健康寿命の延伸により高齢世代が生きがいを持ち安心して暮らせる長寿のまちづ

くり、障がい者や交通弱者が日常生活の中で不自由なく暮らし、元気に活躍できる福祉のまちづくりを目指しており、「健康かごしま21」や、与論町民健康づくり計画「健康よろん21」等に基づき、町民一人ひとりが健康についての意識を持ち、健康づくりの必要性を認識して自ら進んで行動することができるよう行動計画を提案し取り組んでいます。

生活習慣病の発症、重症化予防のために

―力を入れておられる取り組みや、特色のある取り組みについてお聞かせください―

本町の国民健康保険の一人当たりの医療費は県内のなかでも一番低い方ですが、介護の面からみると介護認定率、介護給付費ともに国や県、同規模市町村よりも高い値となっています。

介護が必要となる原因として多い割合を占める生活習慣病は、自覚症状がほとんどなく、気づかないうちに脳や心臓など全身の血管にダメージを与え、心筋梗塞や脳卒中などの深刻な疾患を引き起こす可能性があります。本町では、よほどの体調不良でない限り受診を控える町民が多く、島内医療機関での対応ができないほどに重症化してからの受診となり、住み慣れた島を長期間離れての入院や

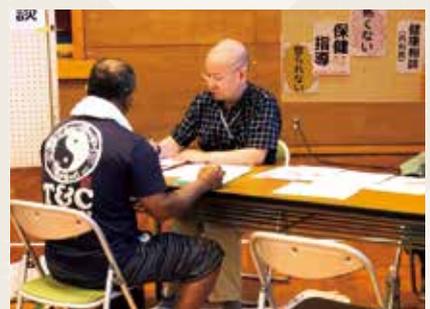
手術、そして要介護状態といった経緯をたどる方も多いようです。

生活習慣病の早期発見に有効な特定健診に関しては、これまで電話による個別受診勧奨や受診した方へのインセンティブとして町指定ゴミ袋を配布する等取り組んできましたが、受診率は45%程度と国の目標には遠く及ばず伸び悩んでいるのが現状です。

本町は沖繩県に近く、食文化等も沖繩文化の影響を強く受けているためか特定健診の結果からメタボリック症候群の予備群率が5割以上と高いこと（沖繩型）と、本町の飲酒文化から適正飲酒量以上の飲酒割合者が多いという健康課題が挙げられます。

これらの対策として健診時にAUDIT-C（簡易の飲酒習慣スクリーニングテスト）を行い、ハイスコア対象者へ介入支援を行っています。今年度から事業主健診の対象者へもBI（簡易介入）を実施していきます。未治療者対策として、健診の結果報告会にて医師を配置し、受診の必要性や健康管理についての指導を行っています。また、国保の対象者だけでなく、産業界の配置がない小規模事業所から事業主健診のデータを町へ提供してもらい、医師や保健師による保健指導を行うことで重症化予防に取り組んでいます。

そのほかにも今年度は、受診率向上のため国保ヘルスアップ事業を活用して、新規受診者の掘り起こしと連



医師による保健指導の様子

続受診者を増やして定着化させることを目標に、受診者のタイプ別に受診勧奨を展開していく事業をすすめております。

生活習慣病の発症、重症化予防は健康寿命の延伸、医療費適正化はもちろん、与論町民が住み慣れたこの島で健康で安心して暮らし続けていくためにも大変重要な課題であると認識しており、今後も更なる特定健診、特定保健指導の受診率向上に力を入れ、幸せあふれる持続可能な与論島の実現を推進していきます。

ウォーキングと摂生で健康管理

―町長ご自身の健康について、普段から心がけていらっしゃる点がありましたらお聞かせください―

以前、ヨロパンナウル健康ウォークの実行委員長を務めたことがきっかけ

で、毎朝1時間ほどウォーキングをしていました。しかし、町長に就任してからは業務が忙しくなり、ウォーキングの習慣から次第に離れていきまして。ところが、昨年9月頃に健康診断を受診した結果、運動するよう指導を受け、それ以来、朝6時頃に起床し、出勤前に1時間ウォーキングするということを最低でも月10回は達成するよう心掛けています。

また、出張で鹿児島市を訪れた際は、早朝に県庁近くの防波堤沿いをウォーキングしています。

一方で、東京等へ出張の際は、移動だけで1万歩ほど歩くこともあり、町長という役職は足腰が丈夫で健康体でないとな務まらないのだなど実感しています。

そして、与論町といえば、大切なお客様をお酒でおもてなしする「与論献奉（よろんけんぼう）」という文化があり、お酒にとても所縁のある土地です。しかし、自身の立場や健康のことを考え、お酒を嗜む機会があつても深酒することの無いように、また、月に10日ほど休肝日を設けるなど、摂生に努めています。

日々、健康について考えるにあたり、自庁職員にもいつも朝礼で伝えていますが、何においてもまずは健康であること。仕事ばかりを優先して心や体を壊してしまつては、かえつて仕事が滞り、周囲に迷惑を掛けてしまいます。職員には、まずは自らの健康は

自らで正しく管理することをモットーにしてもらい、それを伝える私自身も、日々の健康管理を徹底するよう心掛けています。

最後に何か与論町のPRがございましたらお聞かせください

与論というところの美しい海と幻の砂浜「百合ヶ浜」やビーチで探す星の砂などを思い浮かべる方も多いかと思いますが、2021年度の調査において、日本で一番暗い場所（つまり星空が一番きれいに見える場所）として選ばれた星空の島でもあります。星空を見やすい環境を守るための光害対策に取り組み、星空文化の保全につながつたこと等が評価され、「世界の持続可能な観光地TOP100選2023」にも選ばれました。島内には星の魅力を伝える「星のソムリエ」が案内するツアーも充実しております。

与論島では年間さまざまなイベントが開催されますが、代表的なものとして、毎年11月に開催している「ヨロソマラソン」があります。起伏とカーブが多く、マラソンコースとしては厳しいコースですが、目に飛び込んでくる美しい海沿いコースと、子どもからお年寄りまで島民総出でランナーを応援する島民のあたたかさが魅力でリピーターも多く、全国からランナーが集まる大会となっております。

与論島は鹿児島県最南端の島で沖

縄本島との距離が近く、歴史・文化をはじめ交易や人的交流等でも沖縄・琉球とのつながりが強く、奄美群島内でも沖縄文化の影響が色濃く残る島です。そのため、沖縄・琉球と奄美諸島両方の文化の影響を色濃く受けた与論独自の文化、伝統が育まれてきました。島内では「旧暦のある暮らし」が残っており、伝統行事は旧暦で行われます。「与論の十五夜踊」は平成5年12月13日、国の重要無形民俗文化財に指定された与論島の伝統的な行事です。島民慰安のため同時に、嶋中安穩、五穀豊穡の祈願（雨乞い）、または、感謝の意味を持つ奉納踊です。毎年旧暦3月、8月、10月の各15日に行われます。琉球風の踊りを奉納する2番組と、大和の狂言風の踊りを奉納する1番組とで構成され、交互に踊りが奉納されます。最後は会場に集まつた方々で一緒に踊つて終演を迎えます。最近は旅行者

の参加も多く非常に盛り上がる行事となつております。

これまで与論の見どころを紹介してきましたが、豊かな自然を守り、独自の伝統、文化をつないでいくのは与論の一番の宝である「人」。与論島の島民のことを「ゆんぬんちゅ」と言います。ゆんぬんちゅと出会い、友達となり、長く交流を続けている旅行者の方も多いです。ゆんぬんちゅは再訪した旅行者を、「おかえり」と温かく迎え入れてくれます。

ぜひ与論島へお越しください。心癒されるゆつくりとした時間を過ごすことができるとおもいます。笑顔あふれるゆんぬんちゅもみなさまをお待ちしています。



島民総出のヨロソマラソンの応援



国の重要無形民俗文化財「与論の十五夜踊」